



ことば遊び ～さかさまにして言ってみよう！～

今回は、聞いたことばをさかさまにして言うゲームを紹介します。例えば「あか」と聞いたら、「あ」と「か」の順を入れ替えて「かあ」と答えます。この遊びでは、並べ替えた音を記憶しておくことが必要になります。3音以上のことばでは、並べ替えた音を、一時的に記憶しておくことが難しくなってきます。例えば、「りんご」ということばを聞いた時、「り、ん、ご」をさかさまに並べ替えると、最後の音「ご」からスタートして、次は「ご」の前の音「ん」を並べて「ご、ん」、次は「ん」の前は何の音だったかな・・・というように、①聞いたことば「りんご」を覚え、②並べ替えた音「ご、ん・・・」も覚えながら、さらに、③次にどんな音を並べるのか調べる、と3つのことをしなければいけません。同時にたくさんのことを考えながら、ことばを探すことで、記憶する力が育っていきます。

はじめは、2音のことばで楽しく遊びましょう。慣れてきたら、よく知っていることば（自分や家族の名前、食べ物）を使うと、記憶しやすいでしょう。しりとりと違って「ん」で終わることばも遊べますので、ぜひ挑戦してください！

☆ことばをきいて、さかさまにしよう！

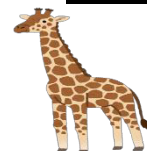
おうちの人に言ってもらって、考えてみよう！

- ① かき ⇒ _____ ② かに ⇒ _____ ③ いか ⇒ _____ ④ かぶ ⇒ _____
 ⑤ くみ ⇒ _____ ⑥ ぼなな ⇒ _____ ⑦ すもも ⇒ _____
 ⑧ りんご ⇒ _____ ⑨ みかん ⇒ _____ ⑩ うどん ⇒ _____



☆さかさまのことばをきいて、もとももどしてみよう！

- ① まう ⇒ _____ ② かし ⇒ _____ ③ こた ⇒ _____ ④ たぶ ⇒ _____
 ⑤ びえ ⇒ _____ ⑥ かるい ⇒ _____ ⑦ ぎさう ⇒ _____
 ⑧ るえか ⇒ _____ ⑨ すらか ⇒ _____ ⑩ んいき ⇒ _____



わらべうたであそぼう

～ふたたび 足について～

10月号で足指など体の末端への意識の話をしました。土踏まずのある足裏に育てて、正しい歩行ができる事が身体づくりの基礎となります。

ふたたび、足に神経を集中させてみましょう。向い合って足裏を合わせ、舟こぎをします。

ここで大事なのは、かかから足指まで足裏全体が相手とくっついている事です。骨や関節の柔らかい間に足首を動かしていきましょう。

今は便利な機械に囲まれ、日常生活の中で使う身体機能が減っている状況です、「蛇口をひねる」という言葉もいつしか消えるのでしょうか。

自分の身体を意のままに動かし、しなやかな身体づくりを目指す方法のひとつです。

大人はストレッチのつもりで子どもと遊んでください。

ギッコン バッコン ヨイショブ ネ
オ～キハ ナ～ミガ タ～カイ ソ



両手をつなぎ足裏を合わせます。両ひざは閉じたまま曲げます。腕は動いている間も曲げないようにします。

- ① 交互に前後に揺れます。腕で引っ張るのではなく、上半身の動きで遊びます。足裏で相手を押す感じで。支点が足裏にくると身体を安定させて動く事が出来ます。
- ② 身体は動かさず、足だけ交互に「曲げる」「伸ばす」を繰り返します。

幼児教育センターは、就学前から小学校教育へつなぎます。
夢と希望のもてる たからっこを

応援します！

宝塚市教育委員会 幼児教育センター

〒665-8665 宝塚市東洋町1-1

電話 0797-71-1141(市役所)

0797-77-2132(直通)

FAX 0797-71-1891

E-mail m-takarazuka0289@city.takarazuka.lg.jp



★ 発達、就園・就学等の相談がありましたら、上記にご連絡ください。